

かさま社協だより

No.31



編集・発行

2016.12.22

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



ハートレインボーの皆さんと



でんでんむしむしカタツムリ



「荒城の月」を歌う姫さん



ちょこっとコーナー

笠間地区福原支部の「歌の原っぱ」

も く じ

- ①第 66 回茨城県社会福祉大会 2
- ②笠間地区福原支部の「歌の原っぱ」 3
ご存じですか? 「フードバンク」・ちょっといい話
- ③支部地区社協活動研究集会・在宅ケアチーム員研修会 4～5
- ④ボランティアセンターだより 6～7
- ⑤お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

第66回 茨城県社会福祉大会

市内のボランティア9団体と 個人37人が表彰される

10月28日(金) 県民文化センターで、第66回茨城県社会福祉大会が開催されました。

オープニング・アトラクションとして、水戸ジュピター・マンドリンクラブの演奏及び、安藤和津さんによる、認知症を発症した実母・昌子さんの在宅介護の壮絶な話を主体とした、記念講演がありました。

式典では、県内各地の功労者の顕彰が行われました。

茨城県知事表彰

民生委員・児童委員

稲野直子
中庭 幸枝
芥川 麗子
石井 昌子
長谷川悦子
藤田 嘉昭
鈴木 忠夫

社会福祉施設職員

成田 順子
関 泉

社会福祉団体関係者

前田 常男
城北福祉会理事長

社会福祉援助功労者

久保田運平 心配ごと相談員
映像でわが町をつくる会

ボランティア
いきいきシルバーリハビリ会

ボランティア
こころの医療センターボランティア「やすらぎ喫茶」

ボランティア

茨城県社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員

飯村 要吉



社会福祉施設職員

諏訪 敦子
畑岡 武
鈴木 良幸
口町美也子

ボランティア

指定訪問介護事業所介護センターかさま
深谷 明美
山口 光旗
高野有紀
笠間市シルバーリハビリ体操指導士会笠間支部
笠間市スクエアステップ
リーダー会笠間支部
ふれあい電話
やすらぎ
お達者ランチ会
笠間市スクエアステップ
リーダー会友部支部



記念講演 エッセイスト・コメンテーター 安藤和津さん 演題 「快適で幸せな暮らしのために」



式典に先立ち、一時間十分に行われた記念講演の内容を、紙面の関係から印象に残った部分の概要を報告します。

祖母は36年間寝たきりだったが、私が年頃の頃、お米の研ぎ方を「強く研がない、研ぎ汁は栄養があるから流してはだめ」と教えてくれた。

また、死ぬ前日まで、「これからは英語が必要になるから」と、カセットテープを聞いて勉強をしていた。

マザー・テレサは、この世で一番不幸なことは「人からその存在を認めてもらえないこと」と言ったが、こどもの存在を親御さんが認めてあげることが、こどもには必要なる栄養になる。

今は、何でもお金で買える。今、ご飯の炊ける匂いがかいたことがないというお子さんが山程いる。

お母さんがご飯を炊かなくなってしまう。おにぎりはコンビニで買うものと思っている。こどもが万引きで捕まった時の親の対応も変わってし

まった。昔は「なんでこんな恥ずかしいことをしたんだ。大変申し訳ありません」と謝ったが、今は「何で捕まってしまったの・・・このドジ。金払えば良いんだらう、どうせ盗るんだつたら、もっと高い物を盗れ」と言った親もいた。

ある児童福祉関係の人が、スキンシップの不足しているお母さんに「一日に何回かお子さんを抱きしめてあげてください」と言ったところ「何時間おきに、何回抱きしめれば良いのですか」という返事に、もうマニュアルでしかこどもを抱きしめられないのかとがくぜんとした。

(内桶)

安藤和津さんのプロフィール

1948年(昭和23年)3月6日生まれ。東京都出身。学習院初等科から高等科、上智大学を経て、イギリスに2年間留学。その後CNNのメインキャスターを務める。俳優・映画監督の奥田瑛二氏と1978年結婚。祖母と母の介護を経験。長女安藤桃子氏は映画監督。次女安藤サクラ氏は女優として活躍中。
【現在の主な活動】
日本テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」福島県ブランド認証委員、福島県しゃくなげ大使、高知県観光大使、富山県高岡観光親善大使など。

歌の原っぱ

歌は私にとってその時代の思い出

福原支部

「山はあおきふるさと 水は清きふるさと」で「歌の原っぱ」は終わりました。

8月28日(日) 福原公民館に於いて「みんなで歌いましう」をテーマに第2回「歌の原っぱ」は開催されました。

参加者24人とハートレインボーの皆さんと12曲を歌いました。

ハートレインボーは歌のボランティアで結成して10年。主に老人福祉施設を慰問しているそうです。

第1部は、童謡・小学校唱歌・ナツメロと6曲を歌いました。

「荒城の月」を姫さん(高3)が歌いました。子連れのボランティアの方もいて、4歳のとうま君が「かえるの歌」を歌っている時は、孫を見ているかのような笑顔をして口ずさんでいました。

休憩時は「ちよこつとコーナ」が設けられていて、そこでお茶とお菓子をいただきながら世間話を楽しんでいま

した。

第2部は、郷土が生んだ作家高野公男さんの「別れの一本杉」を青木さんが歌うと参加者は懐かしそうに一緒に歌っていました。

歌とは「想い出」「友だち」「勇気」「元気」「明日へ」それとも・・・参加してくださった方々はどのような感想をお持ちになりましたか。

支部ではほかに、学習会の開催、支部だよりを発行し活動の様子を知らせているそうです。(埴)



4歳のとうま君

「ご存じですか?」フードバンク

「きずなBOX」を設置



10月末までに協力いただいた食品(総量) 140kg

《きずなBOX》とは
ご家庭で買いすぎてしまった食品やいただきものを寄付としてお預かりする収集箱です。

集まった食品は、フードバンク茨城へ運び、そこから必要としている方や団体に役立てていただきます。

ご協力いただける場合には、お近くの社会福祉協議会各支所「きずなBOX」へお持ちください。よろしくお願ひいたします。

「ご協力いただきたい食品」

○お米、乾麺類

○缶詰、瓶詰等の保存食品

○ふりかけ、のり、お茶漬け

○インスタント食品

○レトルト食品

○調味料、食用油 など

※生鮮食品はお預かりできません。

※未開封で賞味期限が2か月以上残っている食品をお願いいたします。

「きずな」を届ける

11月3日、笠間地区で実施した福祉バザーで「きずなBOX」を設置し、来場者やバザーを主催したボランティア連絡協議会岩間支部のかたに、ご協力をお願いしました。

その食品と温かい思いを、連絡協議会役員の皆さんと一緒に「フードバンク茨城」事務所(牛久)へ届けてきました。

「フードバンク茨城」の斉藤さんから活動の現状や課題について説明をいただき、あらためて活動の意味・必要性を認識することができました。役員からも「斉藤さんの話を聞いて、活動への思いに感動しました。自分たちができる範囲で、できることを続けていきたいと思います」との力強い言葉をいただきました。

これから「きずな」を広げていけるように、皆さまのご協力をお願いいたします。



ちょっと

いい話

笑いのすすめ

皆さんは、今日何回爆笑しましたか。予防医学の観点からも、笑い健康の源、副作用もなく、誰でも手軽にできる優れた方法といわれています。

とくに、顕著なのがストレスを低減させること。ストレスが高くなると唾液中のコルチゾールが増加するのですが、落語を聞いた前後で、まったく爆笑しなかった人はコルチゾールの値が変化しないのに対して、爆笑した人は明らかにコルチゾールが減少していることが確認されています。

また、がんや心臓病の患者さんを対象に、漫才や新喜劇を観て笑ってもらったところ、ガン細胞を攻撃する免疫細胞として知られているNK細胞が、活性の低い人のすべてで正常範囲まで上がったと報告されています。

健康に役立つ笑い、大いに笑って毎日を楽しく過ごしたいですね。(関)

研究集会 チーム員研修会

11月27日、笠間市友部公民館で、昨年は降雪のため中止された支部地区社協活動研究集会と在宅ケアチーム員研修会が合同で開催されました。

第1部は「よりよい活動をめざして」と題して支部社協3地区（池野辺支部・大旭支部・南部地区社協）の活動報告。

第2部は「遺品整理の現場から学ぶ」最後まで孤立しない地域づくりのために」という演題で、キーパーズ(有)代表取締役吉田太一さんによる講演がありました。



『遺品整理の現場から学ぶ』
〜最期まで孤立しない地域づくりのために〜
講師 キーパーズ(有)代表取締役 吉田太一様

講師の吉田さんは、大阪府生まれ。1994年、全国初、引越し屋さんのリサイクルショップ「トランスポート引越サービス吉田物流(株)」を創業。数々のお宅へ伺う中で得た顧客の声をヒントに、2002年、これまた全国初となる「遺品整理専門会社キーパーズ」を設立。

遺品整理の現場で感じたこと・学んだことを話していただきました。

年間1500件に及ぶ遺品整理のうち100〜200件は発見が遅れた変死の現場。近所付き合いが疎遠な現代社会を象徴する孤立死。「たまたま発見が遅れただけではないか」と思われるものもあるが、社会から孤立し誰にも気づかれず、死臭が周囲に漂い始めて発見される孤立死の人が、相当数いるのも事実です。

孤立死と思われる人の部屋は、ごみ屋敷のように散らかっていたり、壊れた家電はそのままで、万年床が多い。そのため人を招かず、さらに片付

けなくなるといふ悪循環に陥る。長く人と接触しないと人間関係が煩わしくなり、あいさつも交わさないまま社会から孤立していくのです。

無造作にハンガーに掛けられた喪服はほこりまみれで、人との交流がなく、着る機会がなかったと、孤独の深さを感じます。一方で複数の着信記録が残る携帯電話に、一人じやなかったんだとほっとします。

悲惨な現場を見てきたからこそ、本当の一人にはならないでほしい。自分が死んだ後、1、2日間に「あの人、どうしたんやろう」と気づいてくれる人とのつながりを持っていてほしい。人とのつながりを持ちながら生きることの大切さを、遺品が教えてくれました。

孤立死のない社会はお互いに支え合う人間本来の姿なのでから。

「向こう三軒両隣は大事にしないさい」と亡き母の言葉がやけに思い出される講演会でした。

(高野)

住民アンケートから地域を耕す

—サロンづくり、徒歩で防犯パトロール隊、400品目の移動販売車—

池野辺支部 書記 井口 清

池野辺支部社は、今年で3年目を迎えます。アンケートの中で地域住民の考え方、要望などの確認がされ、お互いが助け合える体制づくり、安全で安心して暮らせる地域づくりを目指し事業を推進してきました。

これには支部社協ボランティアの支援があり、お茶、コーヒーのサービス、昼食を作り、利用者に提供しています。今年4月より笠間市と連携しコミュニティサロン運営委託契約を結び支援をいただいております。

アンケートから地域の声を生かし地域の方々と共に歩む活動としてサロンづくり、健康増進に関する事業、講座の開催を中心に事業を行っています。特に支部の念願であったサロンが平成27年6月8日にオープンし、セレモニに約60人の参加があり大盛況でした。

また犯罪、事故の抑止力につながる防犯パトロール隊を編成し、徒歩による活動を用い土曜日まで実施しています。買いもの支援についても市と連携し、いばらきコープ協同組合に業務を市が委託し、毎週土曜日、果物から日用雑貨400品目販売する車両が運行、買いものに集まった方が士が会話を楽しめる交流の輪が広がっています。

サロンについては月1回第3月曜日9時〜16時まで開催しており、月20人程度の利用者があります。談話・出前講座、軽度な運動などをして楽しんでいます。

これからも地域活性化を図るためにも地域を超えての交流も必要になってくると思います。



アンケートを生かした地域づくりを語る井口さん



平成28年度 支部地区社協活動 在宅ケア



友部地区



支部活動の取り組み

大旭支部長 菅原 毅

菅原支部長は、社協研究会の課題に沿って、大旭支部役員の構成や実施事業などについて、写真や図を使いながら以下のように発表された。

支部の行政区は26区、会員数は約2,000戸あり、社協・大旭支部・友部第二小学校の3者が協力し、福祉活動を行っている。

◆役員構成と活動費

役員7人、支部委員(区長)26人、部門委員50人、福祉推進委員61人から構成されている。なお、部門委員の代表者が、役員に協力して事業運営の中心を担っている。

平成28年度の活動費は、1,769,000円で、大半は、事業費に充てられている。

1 事業内容(部門別)

・高齢身障部門
・グラウンドゴルフ大会
・ふれあいサロン

2 児童・環境部門

・通学路の安全確認
・児童の見守り活動
・子ども会育成会代表者との懇談会



グラウンドゴルフ大会始球式

3 女性部(にじの会)

・友二小三世代交流会
・一人暮らしの高齢者に弁当を配達
・80歳以上の高齢者との食事会

4 広報部門

『おおあさひ支部報』を年3回発行している。(次号で110号の発行となる)

最後に、今後の展望として地域交流活動を助成するとともに、会員相互の研修とニーズにあった事業を展開していきたいとまとめられた。(調)

よりよい活動をめざして 「5年間の歩み」

南部地区社協運営委員長 岡野 博之



岩間地区

平成21年4月1日平地区社協として設立し、2年間単独での活動を実施する。その後、社会福祉協議会より旧岩間町時代に引っ越していった町民運動会や駅伝大会18ブロック単位での設立方針が示された。そして、中村・市野谷上・市野谷中・市野谷下の各地へ呼びかけ、賛同を得、平成23年9月4日南部地区社協が設立された。

◆活動内容報告

南部地区三世代交流会

平成24年11月11日(日)
「交通安全教室・芋煮会」
交通安全教室は、講師の方の、体を張った演技で、子供たちも喜びながら学ぶことができた。芋煮会も三世代でおいしく食べた。

南部地区交流会

平成25年2月10日(日)
「普通救命講習会・防災訓練・どんと焼き」
どんと焼きは、1年間の無病息災・五穀豊稔を祈り、残り火で串に刺した餅150本を焼

いて食べた。

南部地区三世代交流会事業

平成25年8月17日(土)

「第1回夏祭り&盆踊り大会」
泉・南部地区全戸にチラシ600部を配布し実施。

泉・南部地区三世代交流会

平成26年8月23日(土)

「第2回夏祭り&盆踊り大会」
林鷹央先生を招き「田んぼの生き物調査」を実施する。子ども達37人が参加。生き物調査レポートを作成する。

泉・南部地区三世代交流会

平成28年8月20日(土)

「第3回夏祭り&盆踊り大会」
泉・南部巴川流域を守る会で、今回も林鷹央先生を招き「田んぼの生き物調査」を行う予定でしたが、天候が悪かったため、公民館の庭で昆虫採集を実施し、生き物調査レポートを作成する。

これからも、地区交流会の活動を通して、地区の活性化や青少年の健全な育成のため継続して交流会を開催していくとのこと

広報誌の発行

創刊号平成23年11月15日
平成28年10月10日11号発行(畠山)



生き物調査



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

センターだより

く り を 目 指 し て



無洗米を袋に入れて

食糧は災害支援の必須事項であり、より容易く提供出来

9月の第一火曜日の会で行った、災害救援ボランティア「友援の会」と日赤奉仕団友部分団共催の炊き出し訓練に参加した様子を報告していただきます。10月以降の活動については、写真や概要を掲載しました。

11月に行われた平成28年度ボランティア研修会の様子。特に、笑いの体操とヨガの呼吸法を組み合わせた「笑いヨガ」について報告していただきました。

福祉バザーの結果などについても掲載しました。

平成28年度

第一火曜日の会

復興ボランティア交流会
友部駅前 石井 政義

9月7日、災害救援ボランティア「友援の会」と日赤奉仕団友部分団共催の炊き出し訓練に初めて参加しました。

全国的に頻発する自然災害、明日は我が身と思うのは当り前のことです。このような状況の中で炊き出し訓練はどんな内容で行うか、体験して会得したいと思いました。

なければならぬ。これを満たしたのが今日学んだ非常食炊き出しです。

ポリプロピレン製耐熱袋に米（無洗米）半合を入れ、水を基準線まで入れます。次に袋の空気をよく抜いて、きつちりと輪ゴムでしばります。そして、沸騰したお湯の中に入れて30分程煮ます。これです。来上りです。これにカレーを添え試食しましたが、美味でした。併せてアルファ米を使って五目ごはんを作り、これも美味でした。

この後、昨年9月被災した常総市の社協職員深谷様による特別講演がありました。

大きな被害状況を切実に感じ、未だもって復旧半ばで、80世帯200人が避難生活を余儀なくされている現状に胸が痛くなる思いです。何にしても避難のタイミミングが最優先と感じました。

今日は半日の時間でしたが色々な面で学ばせていただきました。人を思う気持ち、人とのつながり作り、これなどが災害を減災にする最も強いそなえであることを感じました。



岩間支所 17人参加

12/6 まゆ玉千支（酉）

参加者は、9人でしたが、暖かい雰囲気になりました。

11/1 第2弾「二期一笑」見学会

今年2月、友部地内に新しくできたサービス付き高齢者向け住宅「二期一笑」に、第一火曜日の会で前回（4月）が好評につき2度目の見学会を行いました。



笠間支所 17人参加

10/4 第2弾「うりんせうけん」づくり

平成29年

赤い羽根
共同募金

『第一火曜日の会』 これからの予定

2/7(火)	折り紙	9:30~11:30	友部社会福祉会館 2階研修室
3/7(火)	小物づくり	9:30~11:30	社協笠間支所

問い合わせ 笠間市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL0296-78-2626

詳しくは広報かさま お知らせ版をご覧ください



「ホホハハ」の声でスタート

ボランティア

住みよいまちづ

笠間市
平成28年度 笠間市ボランティア研修会
「元氣・健康・幸せは笑顔から」 「笑いヨガ」で
心も体もリフレッシュ

ボランティア連絡協議会

岩間支部 渡辺 美子

11月10日(木) 笠間市民体育館で笠間市ボランティア研修会が開催され、149人のボランティアが参加しました。

講師に笑いヨガリーダーの喜田ひろ子先生をお招きして、「元氣、健康、幸せは笑顔から」というテーマで御指導いただきました。

笑いの体操と、ヨガの呼吸法を組み合わせているところから、「笑いヨガ」という名前がつけられたそうです。

最初は皆で一つの大きな円を作り、手拍子を打って体を動かしながら「ホホハハハ」のかけ声から始まりました。次は、隣の人と笑顔でアイコンタクトを取りながら、大きな声で笑います。喜田先生のパワーに圧倒されましたが、緊張感のある雰囲気の中、徐々に笑顔と大きな笑い声で、体育館全体が包まれました。笑いが伝染して、自然と笑顔になって笑えるようになりました。



大きな声で笑いましょう アイコンタクト

た。皆童心に返った様に、ハイタッチやハグをしたり、笑いヨガを楽しんで幸せな気持ちになりました。

笑いの大切さを学び、ボランティアの皆さんと、楽しい幸せな時間を過ごすことができました。

これからも、笑顔と笑いを忘れずに、楽しくボランティア活動を続けていきたいと思えます。笑いヨガは、大変有意義な研修会でした。

2016 かさま市民運動会に参加

笠間市ボランティア連絡協議会は、10月15日(土) 笠間総合運動公園でかさま市民運動会に参加しました。前日から、準備、仕込みを行い、当日「食のブース」に、赤飯・けんちん汁・じゃがバターを販売し、売上金の一部を岩手・熊本・鳥取の被災地への義援金としました。

平成28年度
ボランティア連絡協議会
福祉バザー

●友部支部

10月22日

友部公民館

「ふるさとまつり in かさま」

●岩間支部

11月3日

市民センターいわま

「岩間公民館まつり」

●笠間支部

11月5日

笠間芸術の森公園

「JA常陸ふれあいまつり」

皆様のご協力に感謝!!

福祉バザー売上金

10/22	友部支部	619,032 円
11/ 3	岩間支部	257,018 円
11/ 5	笠間支部	261,020 円

※益金は地域福祉活動費として活用させていただきます。

友部地区
ボランティア体験
してみませんか

友部地区内で、男性だけで活動している『配食みちくさ』を体験してみませんか。

活動日

第1・第2土曜日(月2回)

詳しくは

友部ボランティアセンター

0296-178-2626

善意の寄附を「ありがとう!!」(善意銀行預託)

平成28年7月1日～平成28年10月31日まで(順不同・敬称略)

物 品

エコキャップ、使用済み切手等
 稲田幼稚園
 県立中央病院(施設課・消毒室・リネン室)
 秀芳会笠間支部
 セントラル医学検査研究所
 笠間市立岩間第一小学校
 笠間市立友部小学校児童会
 石井 敏夫
 佐白の館
 愛の里
 下安居防犯パトロール隊
 いわま保育園
 ともべ幼稚園
 岩間第一小学校児童クラブ
 山中 としい
 普賢院建設委員会
 大原小児童クラブ(ポプラの会)
 不二製油(株)関東工場
 岡本興業(株)
 茨城障害者職業センター
 ありんこ
 東京大学附属牧場
 株式会社フカツー
 くるす保育所
 八文字 徹男
 さくら幼稚園
 稲田小児童クラブ
 おしのべ保育園
 ケアハウス悠
 (有)笠間給食センター 従業員一同
 額田 義文
 泰栄電器株式会社

すみれこども園
 みか保育園
 笠間工芸の丘
 森田屋 入江勇太
 こじか幼稚園
 友部自動車学校
 (有)伊藤石材工業
 笠間地区民生委員児童委員協議会
 来栖女性学級
 三村 清
 入江 照男
 ナブコシステム(株) 茨城支店
 ともべ保育所
 友部郵便局
 菊地 ヤス子
 いきいきステップ下市毛
 大沢保育園
 数納 峰子
 池野辺子供会
 いなだ保育所
 匿名
食品等
 美留町 文男
 高瀬 みどり
 藤田 恒男
 青木 信一
 匿名
介護用品等
 萩谷 憲一
 宮崎 和彦
 清水 はる
 青木 きよ
 鈴木 正夫

衣類等

大島 とく子
 檜山 典子
 茨城県退職公務員連盟笠西支部笠間分会
 茨城県退職公務員連盟笠西支部岩間分会
 茨城県退職公務員連盟笠西支部友部分会

金 銭

ありがとう感謝チャリティーコンサート
 ￥25,000
 笠間稲荷門前通り おかみさん会
 ￥5,626
 旭台団地「AG会」 ￥2,616
 笠間中学校 第46回卒業 さきがけ会
 ￥19,462
 株式会社フカツー
 ￥20,000
 (有)笠間給食センター 従業員一同
 ￥7,849
 北川根支部女性部 ￥5,000
 ニューサウンスオーケストラ
 ￥30,000
 公益財団法人 合気会茨城支部道場
 ￥10,000
 笠間エス・シー協同組合
 ￥2,052
 コロナの会 手芸愛好会
 ￥10,000
 笠間市チャリティーゴルフ大会実行委員会
 ￥161,299
 鈴木 正夫 ￥10,000
 匿名 ￥10,000

訂正とお詫び

平成27年度赤い羽根・歳末たすけあい募金運動の報告書(回覧)の中で誤りがありましたので、お詫びし、訂正させていただきます。
 ◎街頭その他募金
 (誤)ボーイスカウト笠間第2団↓(正)ボーイスカウト笠間第1団
 ◎歳末たすけあい協力団体・個人
 (誤)ガールスカウト20団↓(正)ボーイスカウト笠間第2団

編集後記
 11月22日、福島県で震度5弱の大きな地震がありました。幸いにして市内では大きな混乱はありませんでしたが、常日頃の準備は大事だと再認識したと同時に、東日本大震災を思い出された方も多かったことと思います。ただ、その個々の備えよりも寄り添い助け合う精神は最も大事です。これは、災害時だけでなく、平時にも安心して暮らせる社会を作るからです。そしてそれは、身近な市内に沢山ありました。この度の福祉大会で、市内で活躍する多くのボランティアの方が表彰されました。憎(せう)越ながら、この場をお借りしまして、お祝い申し上げたいと存じます。(入江)

平成28年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)

時間:13:00～16:00(受付は15:30までをお願いします)

	笠間支所 (毎週火曜日)	本 所 (毎週水曜日)	岩間支所 (毎週木曜日)
場 所	社協笠間支所	友部社会福祉会館	岩間保健センター
1 月	10日・17日・24日・31日	11日・25日	5日・12日・19日・26日
2 月	7日・14日・21日・28日	1日・8日・15日・22日	2日・9日・16日・23日
3 月	7日・14日・21日・28日	1日・8日・22日・29日	2日・9日・16日・23日・30日

法律相談

*法律相談は予約が必要になります。 お問い合わせください。

笠間支所	本 所	岩間支所
第3金曜日 10:00～12:00	第1金曜日 10:00～12:00	第2金曜日 10:00～12:00

お問い合わせ先

社会福祉法人
 笠間市社会福祉協議会

本 所 TEL0296-77-0730 FAX0296-78-3933
 笠間支所 TEL0296-73-0084 FAX0296-72-3722
 岩間支所 TEL0299-45-7889 FAX0299-45-6250